

プラタナス

新宿区立四谷中学校
学校だより
第6号
平成22年10月27日

自分を高めるために、今やるべきこと

校長 吉田 和夫

「今までとは違う新しい自分をつくる2学期に！」これが先月の私からのメッセージでした。覚えていますか。すでに2学期も2ヶ月過ぎました。10月28日（木）には四谷中学校10周年記念式典があり、翌日には合唱コンクールがあります。この時期は、ちょうど2学期を振り返るに最適な時期です。これまで皆さんに話をしたこと、皆さんが取り組んできたことを総括し、次につなげたいと思います。

「あじみぞ・マモル」の話。これを1学期にしました。「あいさつ・時間厳守・身だしなみ・掃除、それにマナー・モラル・ルール」で、これによって学校や個人はより良く変わるという話です。単なる合言葉やお題目ではなく、これを実践する人には、確実に手ごたえのある未来が訪れるはずですよ。

また、8月30日（月）の朝礼では「友人を3人つくる」という話をしています。「自分を励まし、支え、高めてくれる良き友人を3人もつこと」、これにより自分の生活や生き方が変わるという話です。3人だけではないのですが、少なくとも3人の異なる友人は、今のあなたを変えるきっかけとなります。

続いて9月6日（月）には、地域の人たちと接する中で、「地域の人たちと仲良くなる」という話をしました。四谷中学校では地域での職場体験やさまざまな奉仕体験活動、地域活動を行っています。その中で、ぜひ地域の方々とも顔見知りになり、仲良くなってほしいという話でした。地域での活動や地域の人々により、学校だけではない、新しい自分を見つけ、創り出しましょう。

さて、今回は皆さんに少し考えてもらいたいことがあります。それは、四谷中学校の授業のことです。四谷中学校では45分授業を行っています。しかし、他の学校では50分の授業です。これはどういうことかということ、50分の授業より1単位時間は短いのですが、回数（時数と言います）を多くしているのです。それは、学力を向上させるために、より多くの時間を使えるからということなのです。ここ数年、この考え方で7時間目を生み出すなど、皆さんの学力を高める取り組みをしてきました。しかし、ここに来て、少し問題が生まれています。それは国の教育の基準である学習指導要領が昨年度から変わり、他の学校でも50分授業のまま授業時間数を多く確保するようになりつつあるからです。

これでは、四谷中学校のメリットが失われてしまうことにもなりかねません。そこで、これまで以上にこの45分授業を大事にしてもらいたいと思うのです。現状では次のような問題が出ています。

- ①45分授業なのにチャイム着席ができず、すぐに授業が始まらない。
- ②短い授業なのに生徒がうるさくて授業が進まない。
- ③授業中、他の人にちょっかいを出したり話しかけたりして、人の学習を邪魔する。
- ④授業時間の短さを補う家庭学習である宿題をやってこない。
- ⑤宿題もやらないくらいだから、もちろん予習や復習も一切しない。

このような現実が出ているのですが、こんなことで学力が伸びると思いますか。皆さん、この事実をどう思いますか。（一部の人だけの問題ではない。）

「授業を大切にしない生徒は絶対に伸びない。」これは、私の長い教員生活で得た事実です。これはスポーツに例えればよく分かるはずですよ。普段の練習をいい加減にやっていて、本番だけに強いチームはあり得ません。たとえ、まぐれで勝っても次は勝てません。合唱コンクールでも、日頃から声を合わせてきちんと練習するクラスが優勝することが多いはずですよ。今の一時をいい加減に考え、おそろかにする人や集団には、いざというときのチャンスが掴めません。その場だけ良いのではダメなのです。

今回の朝礼は「授業を大切にする」という話でした。そのための5つの取り組みをまとめておきます。

- 1 この時間の「授業のねらい」を明確にする。（何を習えばいいのか、目標は何か。）
- 2 授業内容について、受け身ではなく、質問ができたり自分の意見が言えたりするように聞く。
- 3 分からないことを大事にする。（分かったことではなく、分からないことを意識して聞く。）
- 4 友人と話し合ったり教えあったりする時間を大切に生かす。（友人に分からないことを教わる。）
- 5 この時間に「学んだこと、分かったこと」を振り返り、ノートなどにきちんと記録する。

より良く学ぶためには工夫や方策があります。漠然と受け身で学ぶのではなく、より能動的・積極的に学びましょう。どうすればより良く授業が受けられるか、お互いに努力し工夫しましょう。



1年生 遠足 (東京めぐり)

10月8日の遠足では、「江戸」をテーマにした都内巡りをしました。知っているようで知らなかった東京の歴史や文化を学ぶことができました。仲間と協力しながら行動した、この都内巡りで、友達同士の結束がより強くなったと思います。

(1年 堀内)



3年生 第3回進路説明会

10月15日(金)の6・7校時に、第3回進路説明会を開き、3年生と保護者の方に、平成23年度入試についての説明を行いました。

今回の都立高校の入試では、大きな変更点はありませんが、自己PRカードの提出方法などで、いくつかの変更点があります。都立・私立それぞれの学校で、自分が受験する学校ではどのような入試が行われるのか、自分自身でしっかりと確認する必要があります。

また、「何のために高校へ行くのか。」「そこで何をやるのか。」どこの学校に進学するのかを決めるのは本人です。自分でよく考えることがとても重要です。

そのために、学校説明会などに足を運び、自分の目で見てくる。自分で考える。自分自身で服装をきちんとする。自分の耳で、話をしっかりと聞く。提出物の期限を守る。などの注意がありました。義務教育を卒業するという事は、このようなことができるようになるということかもしれませんね。

5ヶ月後には卒業式です。全員が自分にあった進路を決定し、笑顔で卒業式を迎えるためにも、1日1日を大切にしていきたいと思います。

2年生 遠足 (鎌倉)

今回、10月8日に行われた『鎌倉遠足』は修学旅行の準備でもあったため、「計画通りだった。」という人が多かったと思います。しかし、違反をしている人が少数いたというのが残念でした。これからは、さらに周りのことを考えて、行動していきたいです。

(2年 口輪野)



新苑学級 移動教室 (女神湖)

10月5日～7日、女神湖合同移動教室でした。キノコ狩りや車山登山など自然の中での貴重な体験ができました。



写真は、車山頂上まで登山した後、車山展望リフトの発着場に行く途中の「白樺湖へ下りる分岐点」で撮影したものです。

天気も良く、空気がきれいで、みんな頑張ってハイキングしていました。



赤い羽根募金

今回、10月3日におこなわれた赤い羽根共同募金のボランティアに参加した3年生は私たち2人だけでした。1年生は11名、2年生は2名参加しました。みんなで協力して呼びかける事ができたと思います。約3時間で12万円もの募金を集める事ができたのは、地域のみなさまのおかげだと思います。



この募金されたお金が社会福祉に役だってくれたら良いと思います。

このボランティアを通して、地域の方々の温かさや、の金をする意味など色々な事を学ぶ事ができました。

(3年 大坪、稲垣)

四谷大好き祭り

10月10日は雨で、風船配りができなかったことが残念でした。しかし、途中から晴れてきて楽しむことができました。参加してよかったと思いました。

(1年 川又)

昨年までは自分が風船をもらう側でした。配ってみて意外と忙しいということがわかりました。またやってみたいです。

(1年 小林)

風船をあげた時に、小さな子が「ありがとう。」と言ってくれました。すごく可愛かったです。小さい子との触れ合いは楽しかったです。(1年 服部)

風船を配っていた時、自分たちからよってきてくれた子がいたり、風船を喜んでくれた子がいて、とにかくうれしかったです。

(1年 米久保)



四谷ひろば防災

8月29日に行われた、四谷ひろば総合防災訓練に四谷四丁目のグループの一員として、四谷中学校の在校生3名と、卒業生4名が参加しました。

男子生徒は3名一組でDポンプ操作の訓練を、女子4名は非常食の炊き出し訓練を行いました。その非常食は参加者に配られました。

猛暑の中、よく頑張っていました。



開校10周年記念式典・合唱コンクール

旧四谷第一中学校と旧四谷第二中学校が統合されて、平成13年に四谷中学校が開校し10周年を迎えることができました。これを記念し10月28日(木)に本校で記念式典を行います。

あわせて、翌10月29日(金)には開校10周年記念合唱コンクールを新宿文化センターで行います。

これまでの皆様のご支援に感謝しつつ、新しい歩みを進めてまいりますので、より一層の御支援をお願いいたします。

これからの主な行事

10月28日(木) 10周年記念式典

10月29日(金) 合唱コンクール

11月17日(水) 定期テストC

~19日まで

12月1日(水) 家庭連絡週間

12月21日(火) 保護者会

1月19日(火) 2年スキー教室

(3泊4日)

2月24日(木) 定期テストD

~28日まで

3月18日(金) 卒業式

